

「平成20年度環境貢献ビジネスモデル事業」の募集のお知らせ

環境貢献ビジネスモデル事業とは・・・

間伐の実施により生産される間伐材の利用増大を図るため、上下流域等広域にわたる関係者の連携により、間伐材を利用し、環境への配慮や、地域・消費者ニーズに適合した市場性等を有する商品を製作するなどのビジネスモデルを構築する取組を公募により選定し支援する事業です。

※本事業は、林野庁平成20年度補助事業「山村再生総合対策事業のうち間伐・間伐材利用プロジェクト」により全国森林組合連合会が実施するものです。

1 募集する事業

上下流域を含む広域にわたる関係者(異業種等)の連携により、間伐材を利用し、環境への配慮や地域・消費者のニーズに基づいた新たな間伐材製品を製作するなどのビジネスモデルを構築する事業。

なお、新たな間伐材製品については、新たに開発した技術ほか既存の技術を活用した製品も含む。

また、製品の普及促進などのための調査も実施可能。

2 募集対象者・団体

森林組合、都道府県森林組合連合会、林業者等で組織する団体

3 支援内容

以下の事項に該当する経費のうち、1/2以内を助成

- (1)環境貢献ビジネスモデル検討会の開催
- (2)環境貢献ビジネスに関するマーケット調査
- (3)間伐材を利用した試作品の製作
- (4)間伐材を利用した試作品の試験導入及びモニタリング調査
- (5)本取組における環境への貢献指標(CO2排出量やエネルギー消費量等)などの調査

4 助成対象となる事業規模

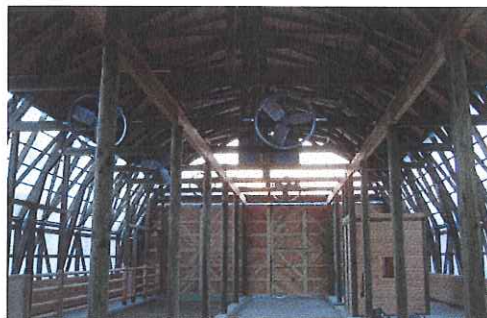
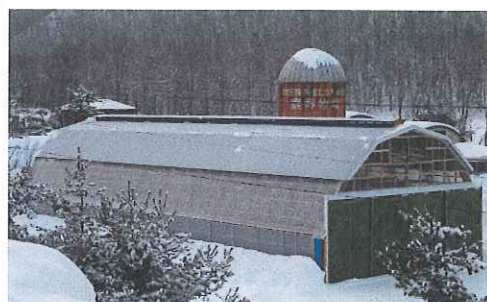
自己負担分を含む事業費が原則400万円以上(消費税別)の事業

5 事業の主な要件

- ・上下流域を含む広域にわたる関係者(異業種等)と連携した事業であること
- ・間伐・間伐材利用の促進を通じて環境貢献できる事業であること
- ・地域や消費者ニーズに適合した市場性等を有する事業であること
- ・市場性を反映し、間伐材利用量の拡大につながる事業であること
- ・マーケット調査・試験導入やモニタリング・環境への貢献指標などの調査は十分な波及効果が期待される内容であること
- ・山村地域での産業振興に資する事業であること

平成19年度取組事例

置戸林産流通加工協同組合連合会



事業内容:

畜舎、育成舎に適したカラマツ木造畜舎の製作とモニタリング調査

目的:木製トンネル型農業施設の実用化の要望がある背景を受け、既存の木製ドームハウスを基に畜舎・育成舎に適した木造畜舎を設計し、実用化することで、カラマツの付加価値を高めた利用を促進する。

間伐材利用実績量:55m³(素材130m³)

実施形態:畜産農家、建設会社、JA、農業改良普及センター等で「カラマツD型畜舎実用化研究会」の設置。

○募集期間

平成20年4月24日(木)～5月23日(金)(必着)

○問い合わせ先及び応募先

全国森林組合連合会 間伐材用途開拓事業事務局 (担当者:富山、田邨)

[住所]〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 [電話]03-3294-9715[FAX]03-3293-4726

[Email]tamura@zenmori.org [URL]<http://www.zenmori.org/index.shtml>

※募集要領や申請書様式はホームページから入手することができます。